



2025年6月期第2四半期（中間期） 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2025年2月7日

2025年6月期上期 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期上期 業績サマリー

- 前年同期比は、主力の決済領域が堅調に推移し、増収増益
- 計画比についても、売上高、利益ともにほぼ計画通りに進捗
- 受注は、インフラ運用サービスの大型案件やクラウドサービスの複数年契約案件等により、大幅増加

単位：百万円

	24年6月期上期		25年6月期上期		増減	前同比	上期計画	
	金額	売上比	金額	売上比			金額	計画比
売上高	6,946	-	7,540	-	+594	+8.6%	7,500	+0.5%
売上総利益	2,200	31.7%	2,231	29.6%	+31	+1.4%	-	-
販売管理費	1,348	19.4%	1,374	18.2%	+26	+1.9%	-	-
営業利益	852	12.3%	857	11.4%	+5	+0.6%	860	△0.3%
経常利益	859	12.4%	887	11.8%	+27	+3.2%	880	+0.9%
当期純利益	584	8.4%	610	8.1%	+25	+4.4%	610	+0.1%
受注高	9,772	-	12,751	-	+2,978	+30.5%		
受注残高	13,800	-	21,795	-	+7,994	+57.9%		

2025年6月期上期 売上高（事業領域別）

- 決済領域は、FEP、不正検知分野は、既存顧客のシステム更改や、クラウドサービスのユーザー数増加等により増加。その他分野は、既存顧客の案件数が一時的に減少
- セキュリティ領域は、大手顧客への製品導入等により増加
- データ通信・分析基盤領域は、証券会社向けシステム開発により増加

単位：百万円

	24年6月期上期	25年6月期上期	増減	前同比
売上高	6,946	7,540	+594	+8.6%
決済	5,784	6,166	+381	+6.6%
FEP	2,493	2,721	+227	+9.1%
不正検知	750	1,179	+428	+57.1%
アクワイアリング	1,463	1,466	+2	+0.2%
その他	1,077	799	△277	△25.8%
セキュリティ	757	923	+166	+22.0%
データ通信・分析基盤	403	449	+46	+11.4%
参考) クラウドサービス	1,180	1,527	+347	+29.4%

* FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2025年6月期上期 売上高（顧客別）

- 「DNP」は、セキュリティ製品導入など、セキュリティ関連の売上が増加
- 2、3位のクレジットカード会社向け大型案件は、開発フェーズの移行により減少

単位：百万円

	24年6月期上期	25年6月期上期	増減	主な案件
1. DNP	871	930	+58	・TSP開発（スマートフォン決済） ・システム運用（24/365） ・暗号鍵管理システム、セキュリティ製品導入
2. システム開発会社	784	607	△176	・クレジットカード会社向けシステム開発等
3. システム開発会社	317	454	+137	・クレジットカード会社向けシステム開発等
4. カード会社	504	426	△77	・複数領域におけるシステム開発等 （FEP・不正検知、決済DX）
5. カード会社	330	402	+72	・複数領域におけるシステム開発等 （FEP・不正検知、決済DX）

2025年6月期上期 売上高（製品カテゴリ別）

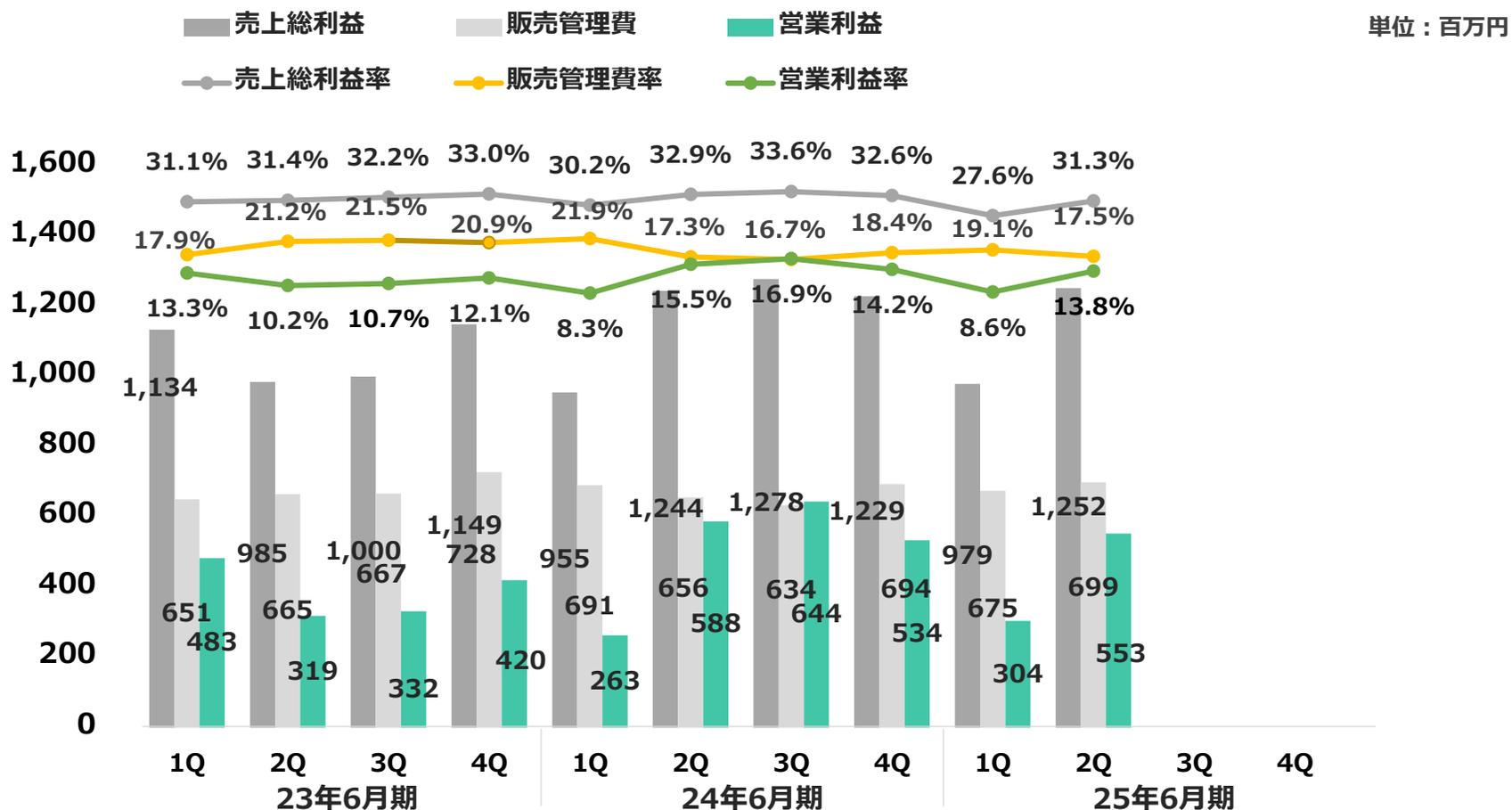
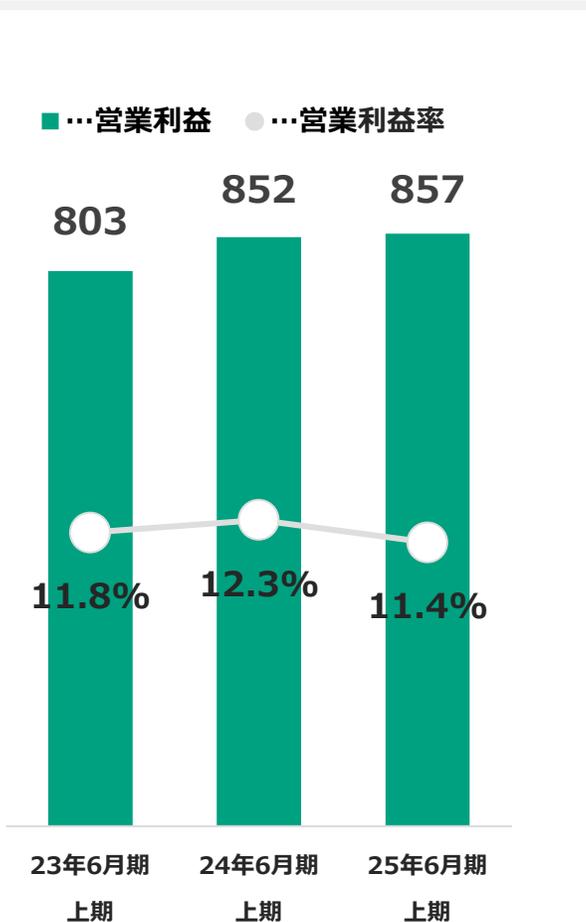
- システム開発は、大型案件の開発フェーズの移行により減少するが、既存顧客の更改案件等により増加
- クラウドサービスは、ユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- セキュリティは、大手顧客への製品導入等により増加

単位：百万円

	24年6月期上期	25年6月期上期	増減	前同比
売上高	6,946	7,540	+594	+8.6%
システム開発	3,457	3,479	+21	+0.6%
保守	798	796	△1	△0.2%
自社製品・サービス	173	165	△8	△4.8%
他社製品（ハードウェア等）	578	647	+68	+11.9%
クラウドサービス	1,180	1,527	+347	+29.4%
セキュリティ	757	923	+166	+22.0%

2025年6月期上期 営業利益

- 売上総利益は、システム開発や保守の粗利率は堅調に推移したが、クラウドサービスのインフラ費用の増加により、前期比で粗利率が低下。引き続き、システム開発や保守の生産性向上、提供価値に見合った価格の見直し等による、粗利率改善を進める
- 販売管理費は、人件費の増加等により増加するが、販管費率は低下



2025年6月期上期 クラウドサービス

- 売上高は、カード不正利用検知サービスのユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- 売上総利益は、インフラ基盤の移行遅延等によりインフラ費用が増加。売上高の増加等により、2Qからは黒字に転換。引き続きインフラ費用や運用の効率化、提供価値に見合った価格の見直しによる粗利率の改善に取り組む

単位：百万円

	2024年6月期				2025年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	614	969	890	2,761	1,618	1,932		
売上高	592	587	618	705	718	809		
受注残高	6,717	7,098	7,371	9,426	10,326	11,449		
売上総利益	96	84	94	75	△20	128		

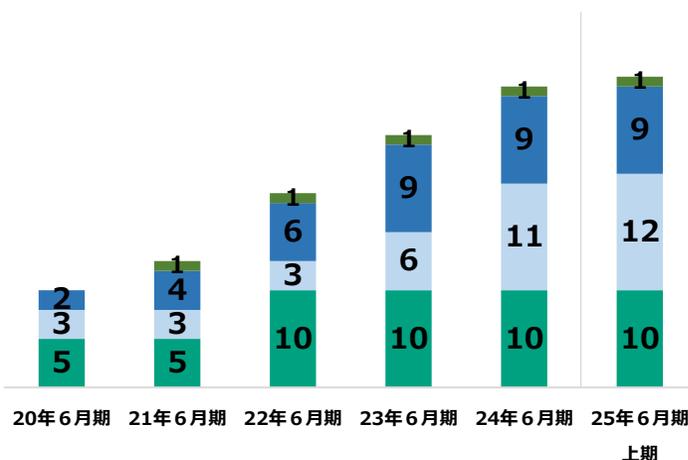
■ 導入社数

■ IOASIS ■ IFINDS
■ IGATES ■ IPRETS



■ 各サービスの概況

サービス名	概況
■ IOASIS	既存顧客の機能追加、取引量増加対応等が増加。新規では地銀を中心に引き合い増加
■ IFINDS	カード不正利用のAI分析データを共有する「FARIS共同スコアリングサービスPowered by PKSHA Security」の導入社数が増加。次世代不正対策プロジェクト「FARIS」において、順次新サービスを投入
■ IGATES	大規模の業界横断の共同利用型プラットフォーム開発が、2025年1月にリリース

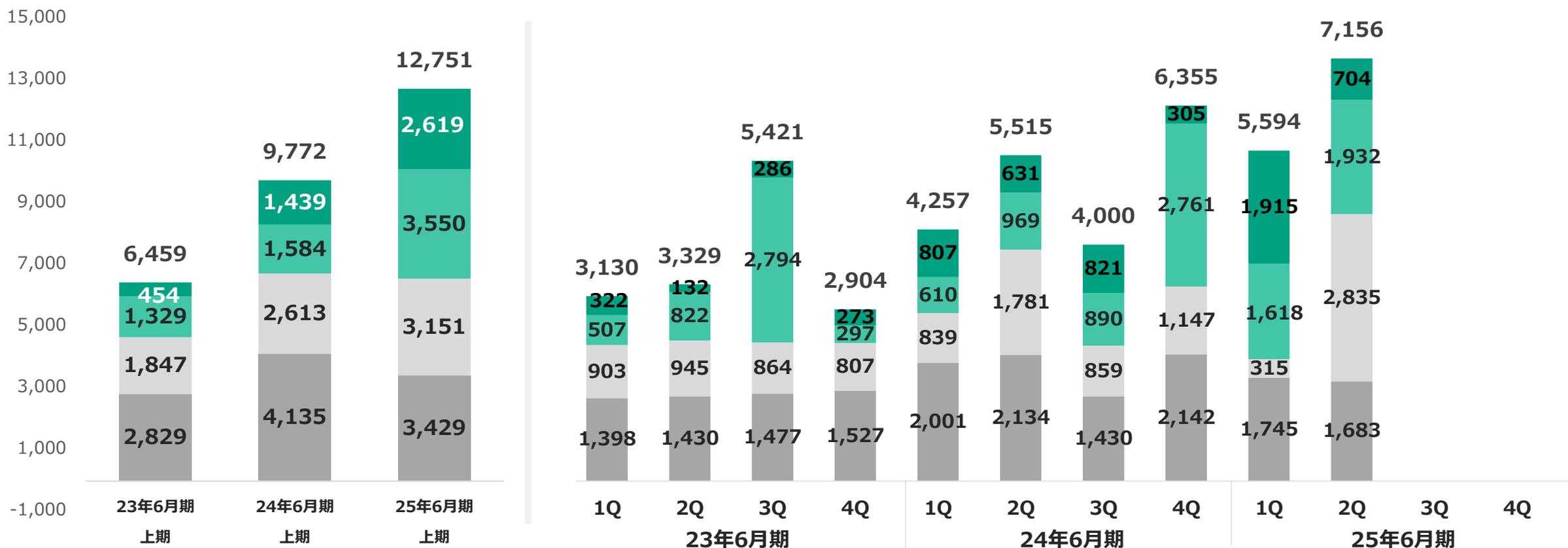


受注高（製品カテゴリ別）

- 金融機関向けインフラ運用サービスの大型案件を受注し、2025年1月から提供開始
- システム開発は、クレジットカード会社向け大型案件が開発フェーズの移行により減少
- クラウドサービスは、新規案件や既存顧客の機能追加等により増加

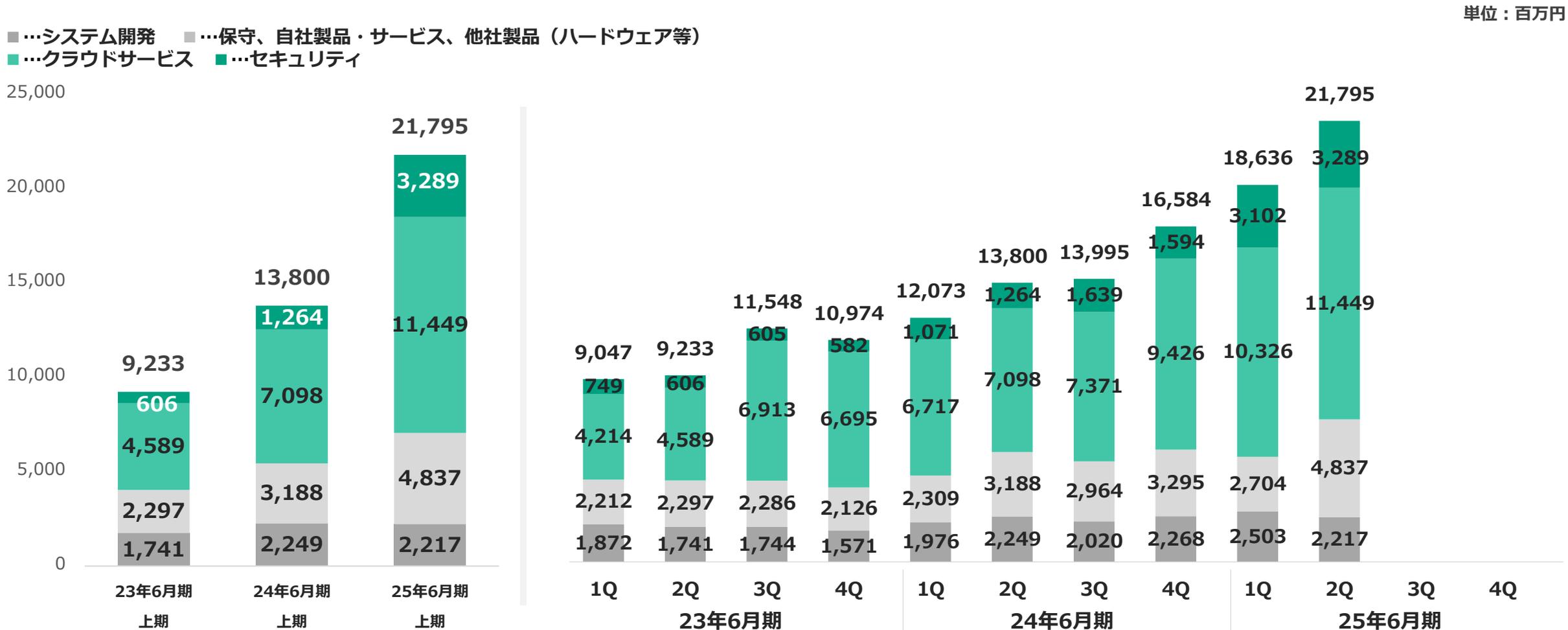
■ …システム開発
 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス
 ■ …セキュリティ

単位：百万円



受注残高（製品カテゴリ別）

- 金融機関向けインフラ運用サービスや、クラウドサービス、セキュリティ等の複数年契約の受注残高が増加
- システム開発は、クレジットカード会社向け大型案件が開発フェーズの移行により減少



2025年6月期上期 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期 業績予想（事業領域別）

期初の業績予想から変更なし

単位：百万円

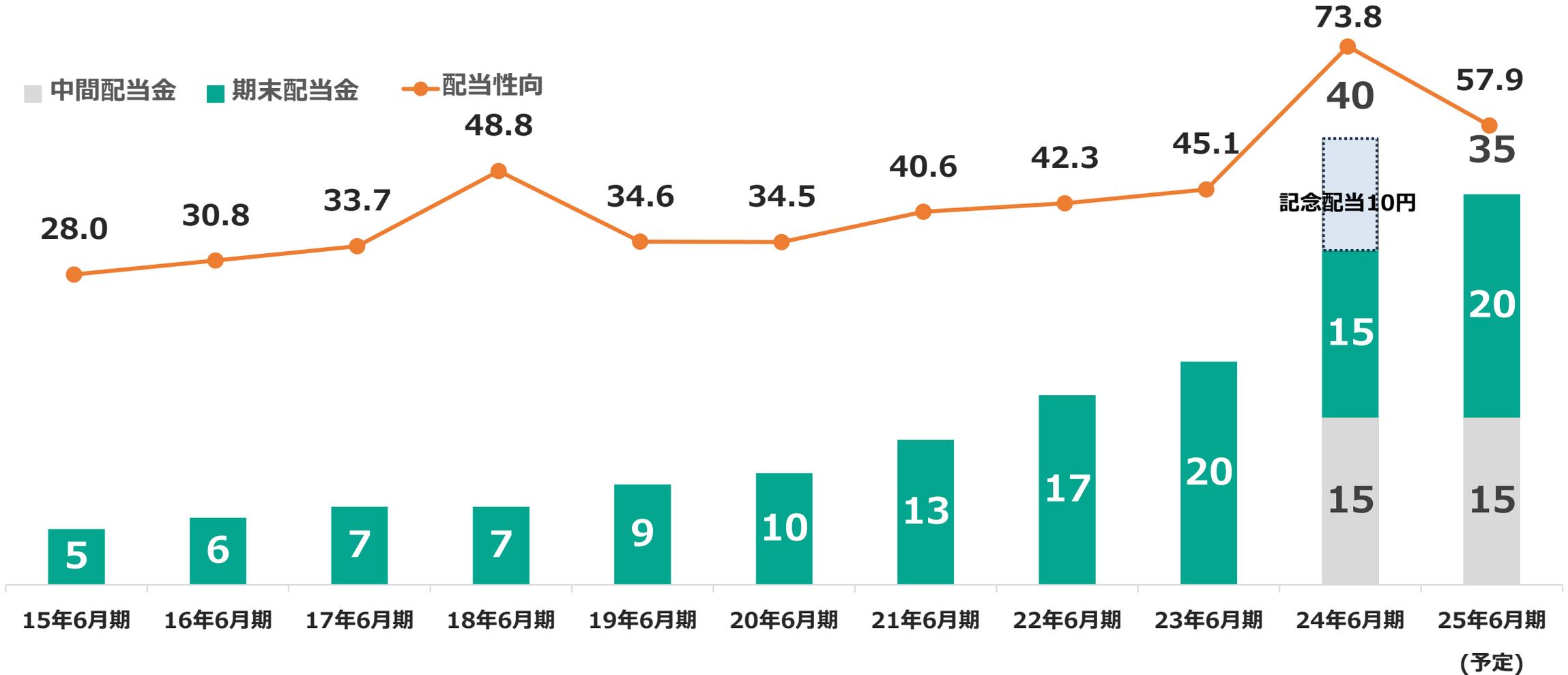
	24年6月期実績			25年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	6,946	7,572	14,518	7,500	8,500	16,000	+10.2%
決済	5,784	6,366	12,151	6,140	6,810	12,950	+6.6%
セキュリティ	757	800	1,558	930	1,170	2,100	+34.8%
データ通信・分析基盤	403	404	808	430	520	950	+17.6%
営業利益 (率)	852 (12.3%)	1,178 (15.6%)	2,030 (14.0%)	860 (11.5%)	1,390 (16.4%)	2,250 (14.1%)	+10.8%
経常利益 (率)	859 (12.4%)	1,212 (16.0%)	2,072 (14.3%)	880 (11.7%)	1,410 (16.6%)	2,290 (14.3%)	+10.5%
当期純利益 (率)	584 (8.4%)	835 (11.0%)	1,420 (9.8%)	610 (8.1%)	980 (11.5%)	1,590 (9.9%)	+11.9%

2025年6月期 業績予想進捗（事業領域別）

単位：百万円

	24年6月期実績			25年6月期予想			対前同比
	上期	下期	通期	上期実績 ※①	下期計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	6,946	7,572	14,518	7,540	8,459	16,000	+11.7%
決済	5,784	6,366	12,151	6,166	6,783	12,950	+6.5%
セキュリティ	757	800	1,558	923	1,176	2,100	+46.9%
データ通信・分析基盤	403	404	808	449	500	950	+23.6%
営業利益 (率)	852 (12.3%)	1,178 (15.6%)	2,030 (14.0%)	857 (11.4%)	1,392 (16.5%)	2,250 (14.1%)	+18.2%
経常利益 (率)	859 (12.4%)	1,212 (16.0%)	2,072 (14.3%)	887 (11.8%)	1,402 (16.6%)	2,290 (14.3%)	+15.6%
当期純利益 (率)	584 (8.4%)	835 (11.0%)	1,420 (9.8%)	610 (8.1%)	979 (11.6%)	1,590 (9.9%)	+17.1%

中間配当は直近の予想どおり 1株当たり15円とし、期末配当についても20円を予定



2025年6月期上期 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2030年代を見据えて、事業の多角化と持続的な成長の基盤づくりに取り組む。決済、セキュリティ、テクノロジー領域を中心とした、さまざまな分野で積極的に事業を展開することで、人々の生活に価値をもたらし、新たな信頼性を創造していく

「Transformation for the Future」

- (1) 決済領域は、当社独自のプロダクトや決済業界におけるポジションを活かし事業領域を拡大することで持続的な成長を図る
- (2) セキュリティ領域を第二の事業の柱へと成長させる
- (3) コア技術を活用した、データ通信・分析基盤領域を、成長市場へ展開し、決済やセキュリティに続く、第三の柱を創出する
- (4) DNPグループとの連携をより進め、それぞれの顧客基盤を活用しながら事業競争力を強化、グループ・シナジーを創出する



IWIのコア技術：高速・大容量のデータ通信/分析処理

2030年代の市場環境に向け、新たな信頼性を創造する製品・サービスを開発し続けていくため、「事業」「技術」「人財」の3つの“変革”に注力する



01 事業の変革

- ①既存事業と新規事業の価値最大化、保有ソリューションの価値最大化
- ②決済領域から新領域への事業拡大
- ③収益構造見直しによる収益性向上。プロダクト指向への回帰

02 技術の変革

- ①コア技術と最先端技術・DXとの掛け合わせによる優位性の確保、価値の最大化、価値の創出
- ②開発、保守、運用の合理化

03 人財の変革

- ①事業企画人財の育成、コンサル機能強化
- ②R&D機能の強化
- ③事業戦略に即した人財流動化

主力のFEP・不正検知分野の価値最大化や生産性の向上を進める一方、決済領域の拡大やシステム運用サービスの拡大に取り組む

既存事業の価値最大化

FEP主力製品「NET+1」の新バージョン開発

- ・ 開発工期の大幅短縮と拡張性を実現。クラウド化に対応
- ・ 既存顧客に導入済み製品を、順次新バージョンへ入れ替え

不正検知ソリューションの多角化

- ・ イシュー共同利用型ソリューションの導入社数増加
- ・ 業界横断型ソリューションの開発、他社との協業拡大
- ・ 既存製品の機能追加による付加価値向上



高生産性モデルへのシフト

- ・ 生成AI/ローコード/ノーコード開発の促進
- ・ 共通化、標準化の促進
- ・ システム運用の集約、効率化

新領域の拡大

FEP・不正検知分野からの領域拡大

- ・ アクワイアリング分野のさらなる拡大
- ・ 機能分割による基幹システムのモダナイズ、オープン化
- ・ 生成AIを活用したシステム更新対応の効率化

重点顧客の売上拡大

- ・ FEP・不正検知分野からの売上拡大
- ・ 事業企画/コンサル機能の強化

システム運用サービスの拡大

- ・ 金融機関向けインフラ運用サービスの大型案件を受注
- ・ 既存顧客のFEP・不正検知システムの運用拡大



▶ 既存領域から新領域への人財ローテーション、新領域の人財育成、リスキリングを推進

中期経営計画進捗（セキュリティ、データ通信・分析基盤領域）

セキュリティやデータ通信・分析基盤領域の事業規模拡大に取り組むとともに、R&Dにおいては、コア技術の転用やAIなどの先端技術の取り込みにより、決済・セキュリティ領域の自社プロダクト・サービスの機能拡張、システム開発・運用の効率化を進める

セキュリティ領域



自社プロダクト「CWAT」の拡販

- ・ 情報漏えい対策（DLP）分野における市場ポジション獲得
- ・ 新機能追加による製品の付加価値向上
- ・ 海外現地パートナーとの共創

エンドポイントセキュリティからの領域拡大

- ・ 脅威インテリジェンス製品の販売拡大

運用サービスの拡大

- ・ EDR製品の運用サポートサービスの提供
- ・ DNPグループによるSOCサービスの提供

データ通信・分析基盤領域



市場系システム分野の拡大

- ・ 証券フロント分野からの領域拡大
- ・ 大手証券や銀行・信託・生保等への顧客基盤開拓

自社プロダクト「AIMD」の拡販

- ・ 「AIMD（メディア分析プラットフォーム）」の製造業への展開

R & Dの取組み

- 既存事業の価値向上 ・ RAG/AIOPS/AIエージェントなどの既存プロダクト・サービスへの適用、新サービス企画
- 新事業立ち上げのための技術検証

2025年6月期上期 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期上期 製造原価明細

単位：百万円

			24年6月期				25年6月期					
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
材	料	費	10	7	9	5	17	5				
労	務	費	745	744	737	718	770	747				
経		費	569	667	661	780	819	814				
外	注	加	工	費	1,085	1,124	1,163	1,151	1,064	1,032		
当	期	総	製	造	費	用	2,411	2,544	2,571	2,656	2,672	2,600
期	棚	首	仕	掛	品	高	216	269	227	275	206	383
期	棚	末	仕	掛	品	高	269	227	275	206	383	243
他	勘	定	振	替	高	434	532	539	503	385	429	
当	期	製	品	製	造	価	1,923	2,054	1,984	2,221	2,109	2,311

2025年6月期上期 販売費及び一般管理費

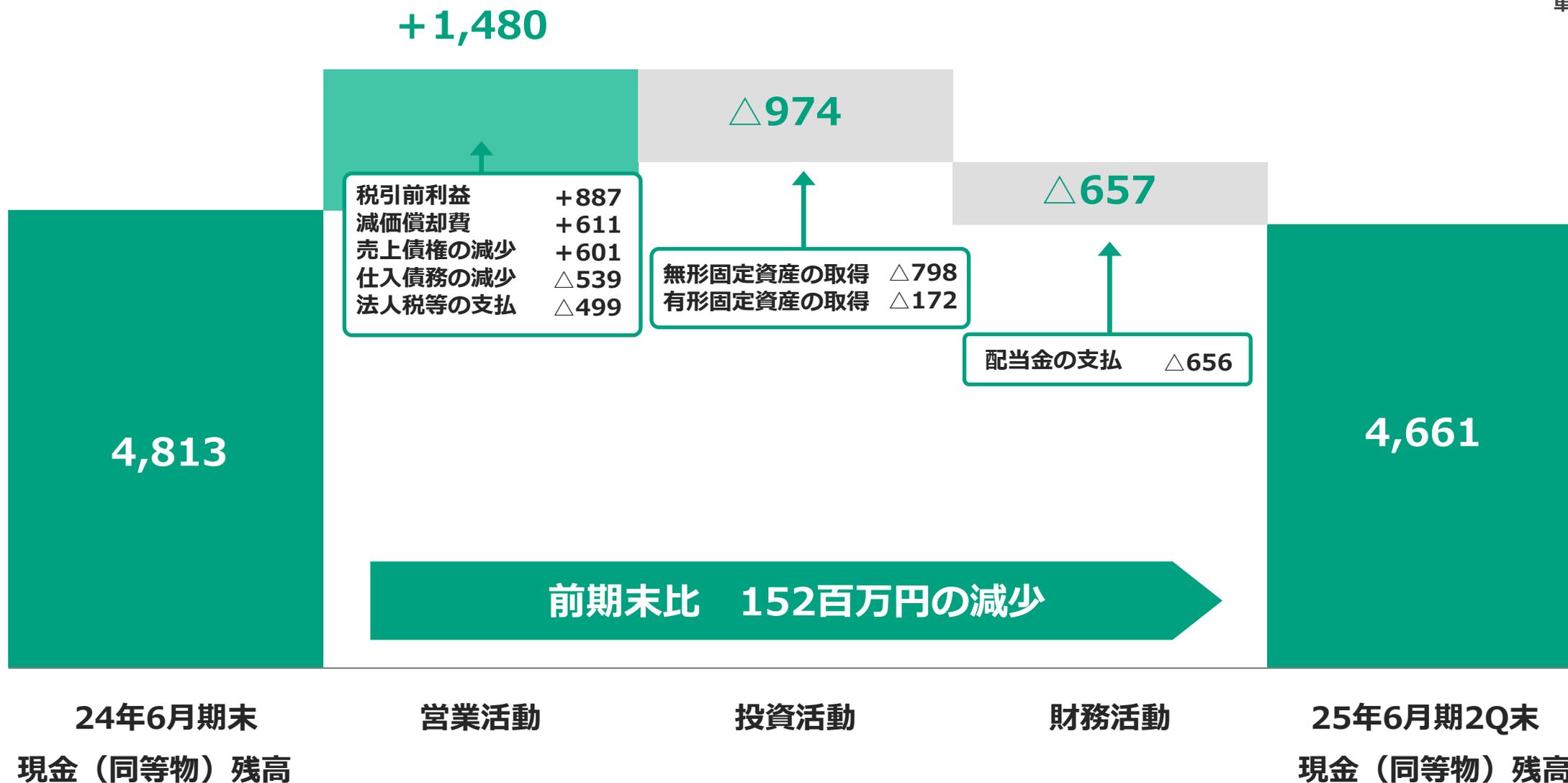
単位：百万円

	24年6月期				25年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	387	382	381	405	407	428		
採用・教育費	24	12	9	35	18	12		
設備・維持費等	127	108	113	111	108	112		
広告宣伝費	14	17	16	15	13	14		
その他	137	137	115	128	127	131		
合計	691	656	634	694	675	699		

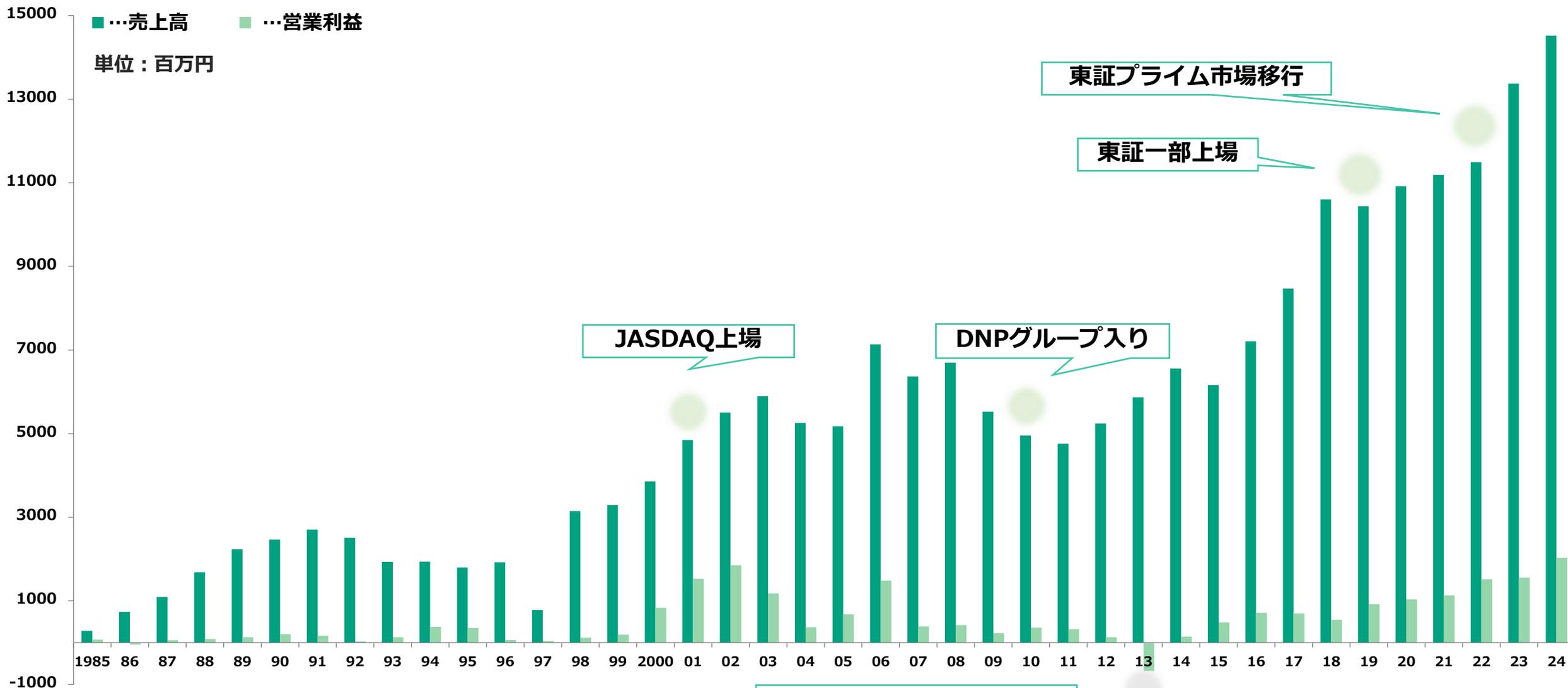
	24年6月期上期	25年6月期上期	増減
販管費	1,348	1,374	+26
		人件費	+67
		採用・教育費	△5
		設備・維持費等	△16
		広告宣伝費	△4
		その他	△15

2025年6月期上期 キャッシュ・フロー

単位：百万円



長期業績推移



※：2015年6月期まで連結業績の数値を掲載
※：1997年は決算期変更に伴い半年分の業績を記載

複数の大型案件が不採算化

参考) 事業領域区分の再定義

従来の事業領域別売上高を、提供する機能別に再編。また当社のコア技術である「データ通信・分析基盤」を活用したビジネスの売上高を分離し、新規事業の早期確立を目指す

- クラウドサービスは、4つのサービスを、提供する機能に分けて計上
- 従来、「決済・金融」内で計上していた証券と新領域ビジネス（放送等）の売上は、「データ通信・分析基盤」に計上
- 決済、セキュリティ領域における新規ビジネスは、各事業領域内で計上

■ (旧) 事業領域別売上高

24年6月期	
売上高	14,518
決済・金融	10,455
FEP・不正検知	5,673
決済システム等	3,973
金融・その他	808
クラウドサービス	2,504
セキュリティ	1,558

■ (新) 事業領域別売上高

24年6月期		
売上高	14,518	
決済	12,151	
FEP	5,370	NET+1 ■ IGATES
不正検知	1,697	ACEplus ■ IFINDS FARIS
アクワイアリング	3,059	IOASIS ■ IPRETS
その他	2,024	その他、システム開発等
セキュリティ	1,558	
データ通信・分析基盤	808	証券・放送等

参考) 2024年6月期 事業領域別売上高

単位：百万円

24年6月期実績						
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
売上高	3,158	3,787	3,805	3,766	14,518	
決済	2,678	3,106	3,176	3,190	12,151	
FEP	1,150	1,342	1,568	1,308	5,370	
不正検知	385	365	397	548	1,697	
アクワイアリング	672	791	744	851	3,059	
金融その他	470	607	465	482	2,024	
セキュリティ	319	437	449	351	1,558	
データ通信・分析基盤	160	243	180	224	808	

2025年6月期 業績予想進捗（製品カテゴリ別）

単位：百万円

	24年6月期実績			25年6月期予想			前同比 (下期)
	上期	下期	通期	上期実績 ※①	下期計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	6,946	7,572	14,518	7,540	8,459	16,000	+11.7%
システム開発	3,457	3,551	7,009	3,479	3,860	7,340	+8.7%
保守	798	832	1,630	796	793	1,590	△4.7%
自社製品・サービス	173	213	386	165	394	560	+85.0%
他社製品（ハードウェア等）	578	850	1,428	647	362	1,010	△57.3%
クラウドサービス	1,180	1,323	2,504	1,527	1,872	3,400	+41.4%
セキュリティ	757	800	1,558	923	1,176	2,100	+46.9%
営業利益 (率)	852 (12.3%)	1,178 (15.6%)	2,030 (14.0%)	857 (11.4%)	1,392 (16.5%)	2,250 (14.1%)	+18.2%

設立	1984年12月27日	(2024年12月末現在)
所在地	東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー	
従業員数	487名	
親会社	大日本印刷株式会社 (50.73%*)	
資本金	843,750千円	
発行済株式数	26,340,000株	株主数 10,848名

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	35.41%	個人・その他	98.22%
金融機関	4.25%	金融機関	0.12%
国内法人	51.30%	国内法人	0.48%
外国法人等	6.94%	外国法人等	0.93%
証券会社	1.87%	証券会社	0.24%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。

株式会社インテリジェント ウェーブ

経営管理本部 IR・サステナビリティ推進室

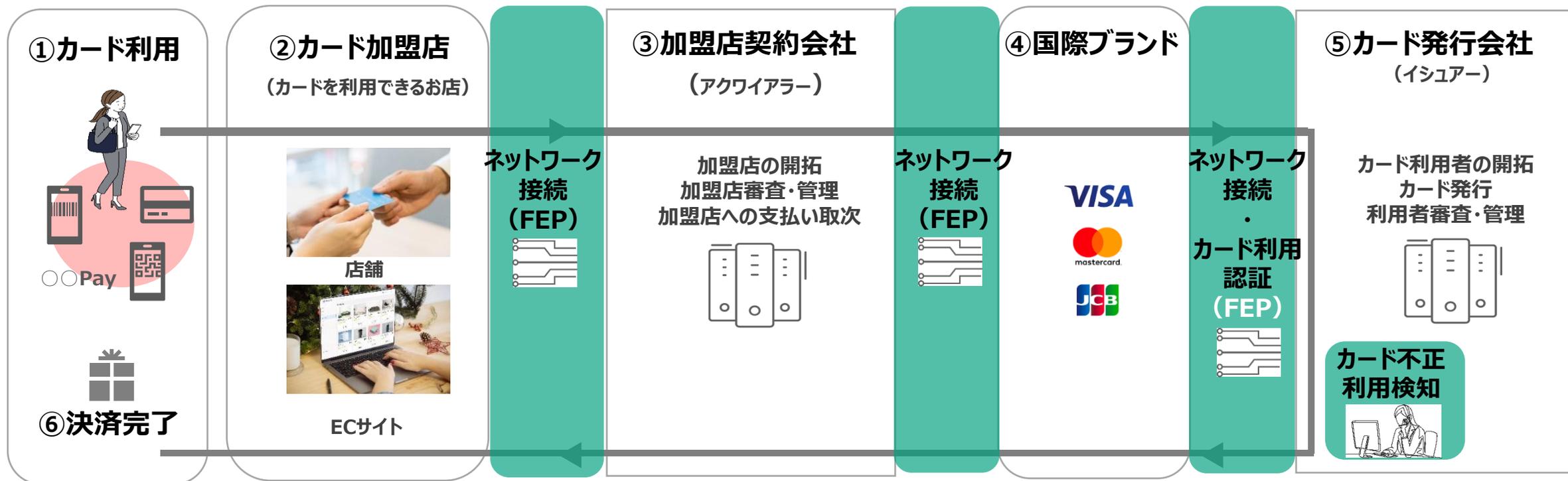
E-mail: ir_info@iwi.co.jp

参考) キャッシュレス決済の仕組み

クレジットカードやQRコードなどのキャッシュレス決済を利用すると、複数の決済事業者のシステムを通過して決済が完了します。

この決済ネットワークの接続やカード利用認証、カード不正利用検知が、当社が強みをもつ領域です

■ キャッシュレス決済の仕組み

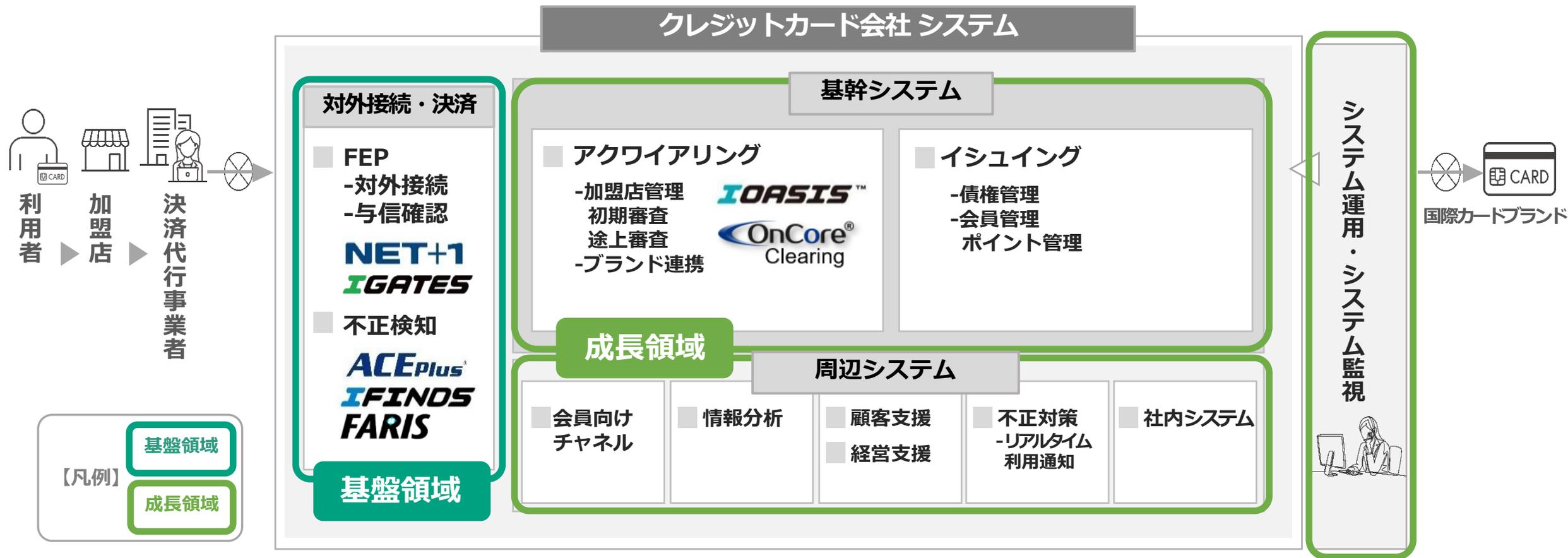


※一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています。

※FEPシステム:決済ネットワーク接続・認証システム

参考) 当社の決済事業領域

当社は国内トップシェアの製品・サービスをもち、決済事業の領域拡大を進めています



参考) クラウドサービス事業について

2016年から決済システムの自社製品（オンプレミス開発）をクラウドサービスにおいても提供し、多様なお客様のニーズに対応しています。

■ 自社製品（オンプレミス開発）

NET+1 決済ネットワーク接続・認証システム

ACEplus カード不正検知システム



■ クラウドサービス（2016年～）

IOASIS™ 加盟店契約（アクワイアリング）サービス

加盟店契約会社（アクワイアラー）に、各種決済ネットワーク接続や加盟店売上精算などの業務に必要な機能を一括で提供。中規模カード会社をはじめ、新たに加盟店事業に参入する地方銀行や大手事業会社（通信、小売など）などに導入しています。

IFINDS カード不正検知サービス

カード不正検知システム「ACEplus」の機能をすべて搭載し、中規模カード会社を中心に、月額利用料課金などで導入しやすいサービスとして提供。導入企業間における不正データの共有など、カード不正利用対策を強化する新サービスも順次追加しています。

IGATES 決済ネットワーク接続サービス

キャッシュレス決済を行う決済事業者等に、各種決済ネットワーク接続の機能を提供。決済事業者に加えて、フィンテックベンチャーなど決済業界への新規参入企業を中心に導入しています。